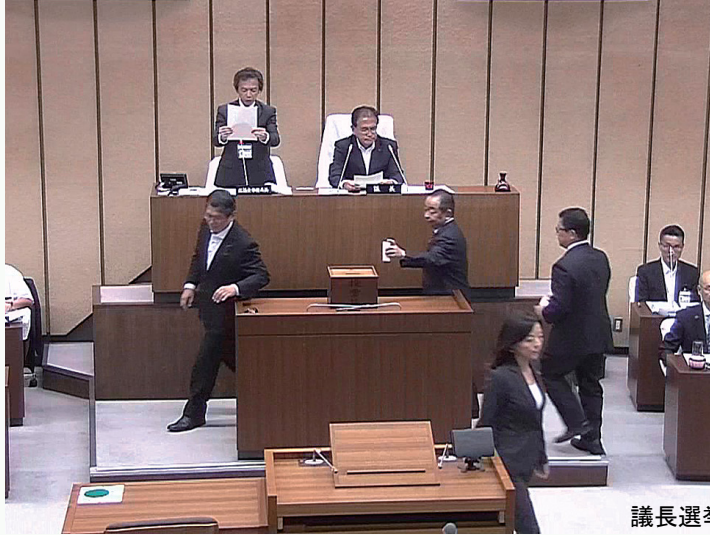


# 葛飾区議会 自民党だより

2019年第3回定例会



議長選挙

## 第3回定例会

9月	12日	本会議（一般質問等）
	13日	本会議（一般質問、議案の付託等） 決算審査特別委員会 議会運営委員会理事会
	17日～20日	常任委員会 （建設環境、保健福祉、文教、総務）
	24日	議会運営委員会
	25日	本会議（議案の議決）
	26日～30日	特別委員会 （地域活性化対策、危機管理対策、都市基盤整備）
10月	1日～4日	決算審査特別委員会
	8日	決算審査特別委員会、議会運営委員会理事会
	9日	区議会議員協議会（全員協議会）
	10日	議会運営委員会
	11日	本会議（議案の議決等） 常任委員会、議会運営委員会、特別委員会

## 平成30年度決算5件を審査・認定

### 新議長に平田みつよし議員、新副議長に小山たつや議員を選出

今回の定例会では、8名の議員から区政一般質問が行われたほか、令和元年度（平成31年度）一般会計補正予算（第2号）をはじめとする区長提出議案等38件、議員提出議案（決議・意見書）4件が可決されました。

また、定例会最終日に、筒井たかひさ議長と牛山正副議長の辞職に伴い、議長・副議長選挙が行われ、新議長に平田みつよし議員、新副議長に小山たつや議員が選出されました。

## 区政を聞く一般質問（要旨）

### ■新たな人口政策の展開と多文化共生社会の実現を



安西 俊一 議員

- (1) 区政を取り巻く状況について
- (2) 外国人区民への窓口サービス等の充実について
- (3) キャッシュレス社会への対応について
- (4) 東京2020大会における本区施設の活用について
- (5) 会計年度任用職員について
- (6) 児童相談所の設置に向けた取り組み状況について
- (7) 防犯カメラについて
- (8) 幼児教育・保育の無償化について
- (9) 金町地域の街づくりについて

### 区政を取り巻く状況

**問** 全国的な人口減少が予想される中、区が今後も地域の活力を維持し、持続的に発展していくための施策の展開が必要だと考えるが、区の見解を示されたい。

**答** 人口総数の増加・維持に加え、バランスの取れた年齢構成となるよう、生産年齢人口や年少人口の増加に向けた施策を展開していく必要があると考えている。そのため、災害に強く犯罪の少ない安全・安心な街づくりをはじめ、公共交通網の整備等による街の利便性向上、良質な子育て・教育環境の充実、高齢者を含めた区民が生涯を通じて生き生きと活躍できる環境づくり、さらには人と自然が共生できる環境にやさしい街づくりに取り組んでいく。

**問** 今後、人口が減少していく中、AI等の技術革新がもたらす大きな変化に対応し、技術革新を活用してさまざまな地域課題を解決していくことが重要だと考える。区の見解を伺う。

**答** 業務等でOCRやRPAを活用し、業務の効率化を図ってきた。また、地域の住民説明会などでVRを活用している。今後は区民向けの問い合わせ業務においてAIを活用する予定である。さらに、障害者向けの移動支援ツールや、QRコード決済などの活用も検討していく。区では、さまざまな地域課題の解決に向け、あらゆる場面で新技術を積極的に活用し、区民サービスや生産性の向上を図っていく。

※他の質問項目多文化共生社会の実現

## 外国人区民への窓口サービス等の充実

**問** 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

**答** 外国人区民に対し分かりやすく伝えるために、日頃の窓口での説明を点検し、簡単で明瞭な「やさしい日本語」に置き換える必要がある。こうした「やさしい日本語」は、翻訳機を活用する前に習得しておくべきものであることから、研修や参考事例の活用により、全職員が標準的に使えるようにしていく。翻訳機にはAI機能が備わっており、「やさしい日本語」を使った翻訳を重ねるごとに精度が向上し、よりの確で分かりやすい対応が可能になると考える。

※他の質問項目 多文化共生社会推進検討委員会での検討内容など

## キャッシュレス社会への対応

**問** 区内商店会のキャッシュレス化を進めるためにも、民間の決済事業者のノウハウを生かした区内独自の電子マネーサービスの創出を考えてはどうか。区の見解を伺う。

**答** 店舗・消費者の双方にとって受け入れやすいキャッシュレス決済の手法について、東京都が実施予定の電子マネーサービスの創出を注視し、民間決済事業者との連携も視野に入れつつ、関係機関と連携・協議しながら、区内独自の電子マネーサービス創出の検討を進めていく。

※他の質問項目 区内中小商店の現状など

## 東京2020大会における本区施設の活用

**問** 地域との交流など大会の開催を実感する機会の創出について伺う。

**答** 東京2020大会には、国内外から1万5千人を超える選手が参加することから、事前キャンプ等を通じて選手と地域との交流が図れば、区民が大会開催をじかに感じられるまたとない機会になると考えている。今後、組織委員会等と連携し、交流の機会の創出に取り組む。また、パブリックビューイングの実施なども含め、大会を実感できる機会を設け、多くの区民にとってかけがえのない体験となるよう取り組む。

※他の質問項目 バレーボール公式練習会場など

## 会計年度任用職員

**問** 会計年度任用職員制度の導入という大きな制度改正を踏まえ、今後の人事行政の在り方や職員数等の将来的な動向をどのように考えるのか伺う。

**答** 区では、民間委託のほか常勤職員をはじめ、専門非常勤職員等、適切な人的資源の活用により、簡素で効率的な執行体制の構築を目指してきた。引き続き会計年度任用職員を含めた適切な人的配置や民間委託の活用により、効率的な執行体制の確保に努めていく。また、職員数の将来的な動向については、児童相談所開設や定年延長制度の動向などがあり不透明だが、適正な定数管理の下、新たな行政需要に応じた執行体制を確保していく。

※他の質問項目 処遇等の変化など

## 児童相談所の設置に向けた取り組み状況

**問** 本区が目指す児童相談所の将来像を示されたい。

**答** 区は、これまでも子育て環境の充実を重点プロジェクトに位置付け、さまざまな事業を展開してきた。とりわけ児童虐待の対応は、子ども総合センターが中心となり関係機関と連携を図り対応してきたが、法的な介入力がないことなどから、限界を感じていた。こうした中、平成28年度の児童福祉法改正により本区でも令和5年度の児童相談所開設を目標に検討を進めており、これまでの支援の限界を突破し、迅速な対応により虐待の早期発見や重篤化の防止につなげていく。

※他の質問項目 職員の確保と育成など

## 防犯カメラ

防犯カメラの設置と活用に今後どのように取り組んでいくのか、区の見解を示されたい。

防犯カメラについては、平成30年度までに548台設置しており、今年度の406台と合わせ計954台が地域との協働の下に設置となる予定である。今後は、警察と連携して新たに設置が必要となる箇所も分析していきたいと考えている。今後も地域団体と十分協議をしながら、効果的・効率的な設置について検討を進め、安全・安心な街づくりの実現に一層取り組んでいく。

※他の質問項目 過去4年間の街頭防犯カメラの設置台数の実績など

## 幼児教育・保育の無償化

問  
答

食材費の無償化が真に児童の利益につながるよう、施設における給食の充実などに取り組むべきと考えるが、区の見解を示されたい。

国では実質徴収としている給食に要する食材料費を、本区では従前から実質無料になっていた認可保育所はもとより、私立幼稚園や認可外保育施設まで対象範囲を広げ、区の負担とした。この食材料費の無償化を通して、単に保護者負担を軽減するのではなく、栄養バランスの取れた給食の提供はもちろんのこと、食育の観点も取り入れていきたいと考えている。このような取り組みの強化を各事業者と協働し、真に児童の利益につながるよう努めていく。

※他の質問項目 幼児教育・保育事業者への周知など

## 金町地域の街づくり

問

理科大学通りの歩行空間の確保は北口の街づくりが進捗する中、一刻の猶予も許されない状況にあり、早期の都市計画決定を行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

答

理科大学通りの歩行空間の確保は課題であると認識している。今後、東京理科大学の新校舎建設などが予定されており、利用者がますます増加することが予測される。理科大学通りは、現在都市計画手続きを進めている東金町一丁目西地区の地区計画において、将来拡充を図る箇所として位置付けており、拡張整備については令和3年度の都市計画決定を目指して関係機関と協議を進めている。今後も地権者の方々とも引き続き意見交換を行い、積極的に進めていく。

※他の質問項目 保留床活用策など

より良い葛飾を目指して

ホームページにて活動や報告  
など随時更新しています！

Q ▼ 葛飾区議会 自由民主党議員団

検索

**自由民主党**

お気軽にご意見をお寄せください！

<https://jimin-katsushika.com>

